



IGC

No.13

事務局ニュース 第29回IGC事務局

電話：0298-54-3627
ファクス：0298-54-3629

10月12日に東京大学総合資料館で第5回組織委員会が開かれました。そこでの討議結果の大略を紹介しましょう。また、事務局からもお願いがあります。

アンケート結果について

9月末日までに3,549通のアンケートが寄せられ(10月号参照),その集計結果はセカンド・サーキュラーに向けての参考にされます。アンケートは引き続き寄せられています。今後はセカンド・サーキュラーの送付リストにのみ載せられます。

国内からのアンケートが少なく、米国、ソ連と大きく変わりません。アンケートを出した方は送付リストに載り、セカンド・サーキュラーが印刷でき次第送付されますが、それ以外の方への配付方法は、まだ決まっています。ファースト・サーキュラーに比べて、かなり厚くなり、送料が高額になるため、アンケートを提出しなかった方には切手同封で請求いただく可能性もあります。今からでもアンケートを事務局にお寄せください。

主催、協賛学協会等の団体

IGC-92の主催および協賛団体は以下のように決まりました。主催団体は東京地学協会、日本地質学会、日本岩石鉱物鉱床学会、日本鉱山地質学会、日本鉱物学会、日本古生物学会の6学会であり、協賛団体は岩の力学連合会、構造地質研究会、資源・素材学会、石油学会、石油技術協会、石灰石鉱業協会、全国地質調査業協会連合会、地学団体研究会、地震学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、地すべり学会、土質工学会、土木学会、日本応用地質学会、日本海洋学会、日本火山学会、日本結晶学会、日本原子力学会、日本材料学会、日本自然災害学会、日本測地学会、日本第四紀学会、日本地下水学会、日本地学教育学会、日本地球化学会、日本地形学連合、日本地熱学会、日本地理学会、日本粘土学会、日本リモート

センシング学会、農業土木学会、物理探査学会の32団体です。日本の固体地球科学関係のほとんど全ての団体が協賛しています。他の学会で協賛に賛同いただける学会をお聞き及びでしたら、事務局まで御一報ください。

会期中に上映されるビデオについて

会期中にビデオを上映する予定ですが、地質調査所などの現有の英語版ビデオの中で、上映可能と思われるものが非常に少ないことがわかりました。英語版で貸して頂ける可能性のあるビデオをお聞き及びの方は事務局まで御一報ください。

運営体制について

募金委員会が発足することになり、財務局が設置され、運営規約の一部が変更されました。募金活動に関して、皆様方の御協力を、切にお願い致します。詳しい資料が必要になったときには、事務局にありますのでお問い合わせください。

今後のスケジュール

12月末日でセカンド・サーキュラーの原稿が完成する予定となっています。各小委員会への提出はそれ以前となります。各小委員会から連絡があったことと思いますが、関係者の方々は原稿を早めに作成願います。ファースト・サーキュラーの時は、印刷が出来上がったのが4月初旬でした。セカンド・サーキュラーは3月上旬に印刷を完了し、4月の学会シーズンには間に合わせたいと思っています。

[手紙による事務局への連絡]

〒305 筑波学園郵便局 私書箱65

第29回 IGC 事務局